



表紙の“人” Mr.フィギュア

今月の一言

全然無視無視

今月の表紙は全然無視無視。というところで写真のんでん虫、タイトルと全く関係の無い床屋さんのお話です。でも待てよツノ出せ、ヤリ出せ、アタマ出せとあるから頭髪の話もまんざら「虫」した話では無いかな。

さて今秋、次女が結婚するので、近日中にお相手のご両親と会食することになり、久しぶりに床屋さんに行こうと探していると、寂れたお店を発見！ ドアを開けると、よくいえばレトロだが、殺風景な室内に、椅子の周りだけが鉄骨で覆われている。その中で、一人の高齢の女性理容師が客のおばあちゃんとお喋りしながら顔剃り中。多分近所の常連さんだろう。小生、もちろん流行は望まないが、ちゃんと綺麗にできるのか、えらいとこや！に入ったなと思いつ

つ、一方で何か不思議な期待感もあり待つことに。暫くしてお待たせと声がかかり、覚悟を決めて座るや否やこれがなかなか上手！ちよつと話しかけてみよう。

ところでこの座席周りのライザップの筋トレマシンのような鉄骨は？ 「これはお客さんを守るための耐震用だよ。何かあったら申し訳ないからね」 そうか、家全体では費用もかかるし、この空間だけで客は守れる。顧客最優先の姿勢だ。さらに会話は続く。お店は明治に創業しこの建物は昭和30年頃でき、彼女はそこにお嫁に来て、ご両親、ご主人とやってきたのだが、ご主人も亡くなり姑さんと二人になり献身介護の末、最期も看取り、その後3年間一人きりで営業を続けているのだ。

長男は立派なお医者さん、その

お孫さんも研修医で頑張っている。偶然にも嫁に行く我が娘もお孫さんと同じ医局で同世代。「どこかで出会って結婚相手になっただかもね」と冗談話。さらに彼女は若かりし頃、小生の故郷一宮市の理容院で7年間修行したそう、それも我が青春の高校時代に付き合っていた彼女の近所だった。地元との共通の話で盛り上がる中、歳を聞けばもうすぐ80歳。誰も後を継がずもうやめようと思っっているが、ボケ防止にもなるので続けているという。しかし手に職がある

Mr.フィギュア 本誌の表紙に登場した一見あやしい、どこか可愛い、中年男性。愛犬チャーチルとはいつも一緒。その正体は、実在するビジネスマン恒川憲一氏をモデルに作られたフィギュア。月刊正論の表紙とこのコラムで、厳しく優しく、ダジャレをオシヤレに織り交ぜた温かいメッセージを、読者のみなさまに届けている。

ことは凄いと改めて実感した。

何れにせよ彼女の人生の苦労を垣間見、自分の過去との幾つかの奇遇を感じ、まさに時空を越えたような清々しい体験でした。小生があの時ドアを閉め、引き返していたら…。一つの選択がどんな展開に変わるか、お金、時間をかけなくとも日常にドラマは転がっているのだ。短くなつた髪型の評判も良く閉店しないうちにもう一度、いっとこや！

とここで結婚間近な我が娘は、これまで父である小生の意見など

全く無視であったが、さすがに話に答えてくれるように。まあ、何かの巻き貝でなければいいが！

表紙のんでん虫は沖縄で遭

遇、都会では見られない美しく大きなカタツムリ。Mr.フィギュア様を全く気にもせず、まさに全然無視。小生を「ナメクジ」して、きつと「勝ったつむり」なのだろう。ちなみにヤリ出せとは何かご存じかな？ 恋矢れんやといって交尾する時にでる、お互いに刺激合う尖がったものをヤリというらしい。自然の神秘にはヤリきれんし。では散髪の話は、散発駄洒落でお開きとしよう！ はい！カット！

P・S Mr.フィギュアのスマフォコミック掲載中！

ライセンシングジャパンでお会いしましょう！（6月28日～30日、東京ビッグサイト）

恒川憲一氏 つねかわけんいち

クリエイター。株式会社シーエムバー代表取締役社長。大阪芸術大学デザイン科を卒業後、広告代理店勤務を経て独立。15年間、絶えずフィギュアを持ち歩き撮影し、ダジャレを考えている。このコラムの真の執筆者。著書に『フォット、一息』（セルバ出版）。

